

【BERT による情報の分類と統合データを活用した疾患/毒性の標的探索】

疾患や毒性、副作用の原因となるターゲットを見つけることは重要な問題である。

当社で開発販売している Life Science Knowledge Bank : LSKB は、疾患、遺伝子、タンパク質、組織などの情報のみならず 化合物の構造情報を含む様々なデータと各要素の相互作用情報、それらを解析する手法を搭載している。

今回、過去 20 年分の 毒性と遺伝子に関する PubMed の記載から AI の自然言語処理手法 BERT による関係性を判別とその結果を加えて 様々な相互作用と合わせた薬物などにより生じる症状や生物学的な変化など毒性に寄与する標的の探索について紹介する。

日時：9/14(水) 15:00-

会場：千里ライフサイエンスセンター